

船舶事故調査報告書

平成29年9月21日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	転覆
発生日時	平成29年5月27日 08時30分ごろ
発生場所	千葉県いすみ市夷隅川河口沖 太東埼灯台から真方位200° 1,500m付近 (概位 北緯35° 17.8′ 東経140° 24.4′)
事故の概要	プレジャーボートハヤブサは、東進中、転覆した。
事故調査の経過	平成29年5月30日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート ハヤブサ、0.7トン
船舶番号、船舶所有者等	232-44536千葉、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	主機及び航海計器に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風速 約2～4m/s、視界 良好 海象：波高 約2.0m、水温 18℃
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、約8～10ノットの対地速力で、太東埼東方沖の釣り場に向けて夷隅川河口沖を東進していたところ、右舷側から波高約2mの波を受け、海水が船内に流入して転覆した。</p> <p>船長及び同乗者は、本船が転覆した際に海へ投げ出されたが、いすみ市所在のマリーナ所属の水上オートバイに救助された。</p> <p>本船は、巡視艇により、千葉県勝浦市勝浦港にえい航された。</p> <p>船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p> <p>本船の乾舷は、船首約0.8m、船尾約0.5mであった。</p>
分析	本船は、夷隅川河口沖を東進中、右舷側から波高約2mの波を受けたことから、海水が船内に流入して転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、夷隅川河口沖を東進中、右舷側から波高約2mの波を受けたため、海水が船内に流入して転覆したものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波の状況をよく観察し、航行の可否を判断すること。